

Master of Dermatology (Maruho) 歴代受賞者

令和 7 年度現在

No.	年	氏 名	所属名称	受賞テーマ
1	平 30	ふるえ ますたか 古江 増 隆	九州大学大学院 医学研究院 皮膚科学 教授	Aryl hydrocarbon receptor 研究による社会貢献 —油症および炎症性皮膚疾患の治療—
2	令元	とみた やすし 富田 靖	名古屋大学 名誉教授	多くの色素異常症の病因遺伝子の解明と病因遺伝子に 基づいた白皮症病型分類の確立に貢献
3	令 02	しみず ひろし 清水 宏	北海道大学大学院 医学研究科 皮膚科学 教授	グローバルな皮膚科学教育ならびに水疱症研究への 貢献
4	令 03	しおはら てつお 塩 原 哲夫	杏林大学 医学部皮膚科 名誉教授	薬剤性過敏症症候群を初めとするアレルギー性皮膚疾患 の病態解明・治療理論の確立
5	令 04	ふるかわ ふくみ 古 川 福実	和歌山県立医科大 学名誉教授 高槻赤十字病院 名誉院長	ループスエリテマトーデスの皮膚病変に対する発症機序 の解明と治療方法の確立に関する一連の研究
6	令 05	もりた えいしん 森田 栄 伸	株式会社 メディカル工笑 島根大学名誉教授	小麦依存性運動誘発アナフィラキシーの主要アレルゲン ω 5-グリアジンの同定に基づく高精度診断法の開発と病 態解明及び低アレルゲン小麦の開発と実用化
7	令 06	いわつき けいじ 岩 月 啓 氏	福島労災病院 岡山大学名誉教授	EB ウイルス関連皮膚疾患の病態解明:症例から学んだ 新たな疾患スペクトラム
8	令 07	いけだ しがく 池田 志 孝	順天堂大学 名誉教授	分子遺伝学の進展と皮膚科学への貢献:我々の試みと共 に振り返る